

厚生労働省のミッションと 数理・デジタル職の役割

「ひと、暮らし、みらいのために」

厚生労働省はすべてのライフステージで皆さんの暮らしをサポートしています
この国に暮らすすべての人々が、安心して暮らし、働くことができる社会を作ることがミッションです
子育て支援・雇用対策・ワークライフバランス・医療・介護・年金…生活のありとあらゆるところで厚生労働省の政策が関わっています
日々の報道で厚生労働省に関連するニュースに触れない日はありません
「ひと、暮らし、みらいのために」様々な課題に挑み続けます

行政に科学を ～数理科学とデジタルでゆたかな社会を～

社会生活を取り巻く状況が日々変化するなかで国民の生活をいかにゆたかにするか
国民がどのようなことに困っていて、どのような政策を望んでいるのか
それを考えるにはまず国民の生活実態を把握することが不可欠です
出生・死亡、世帯構成、健康状態、就業状況、賃金…
これらを適切に把握・分析するには統計など数理科学の素養が必要です

そして、国民の中にどのようなニーズがどの程度あるのかを見極め、また将来どのようにその
ニーズが変化していくかをシミュレーションにより把握することも重要です
また、現状を踏まえて新しい施策や改善策を考える場合に、それを実行すると国民にどのような影響がどの程度生じるかを見極めることも大切です
シミュレーションを科学的根拠に基づいて行うには数理科学の思考力が必要です

情報技術が日進月歩ものすごいスピードで進化する現代社会
医療・介護など生活に密接に関連する分野におけるデジタル化を推進し国民がメリットを感じられるデジタル社会を構築していく
年金事業など社会保障を支える大きな業務システムを安定して運営していく
数理科学のほか情報科学、デジタル分野の素養を活かせる場面も多くなっています

厚生労働省の数理・デジタル職は、数理の感性や情報科学の知識など自らの強みを活かして
厚生労働行政の推進に貢献しています

国家公務員総合職試験の「数理科学・物理・地球科学」区分に加え、令和4年度から新たに実施される「デジタル」区分からも総合職数理・デジタル系職員として採用します

厚生労働省の業務は、国民生活と密接に関連しており、国民、企業、医療・介護・福祉事業所等との間で多くの手続きがあります。デジタルガバメントという言葉が表すように、これらの手続きもデジタルが基本となるため、デジタルの知見が必要となる場面がますます増大していきます。

また、厚生労働省にはかなり大きな業務系のシステム（年金事業、労働基準行政、ハローワークシステム等）があり、保守、整備、運用等を行う必要があります。ここでは、単に情報システムに関する知識だけでなく、行政の実務がどのように行われているか、行政のニーズがどの程度あるかなど行政官としての経験、能力が必要とされます。

医療、介護、年金、障害等の社会保障分野でもデジタル化が急速に進んでおり、医療の受診データや健康診断等の情報がビッグデータとして整備されつつあり、社会保障の効率化など将来の社会保障の姿を考えていくために、ビッグデータの分析や利活用の重要性が高まっています。

このように、統計など数理科学に関する専門知識や思考力だけでなく、情報科学やデジタル分野にも強みを持つ総合職数理・デジタル系職員の活躍が期待される場がますます広がっています。「行政の実務とニーズ」と「デジタルの専門知識」の両方に強みを持つ行政官として、国家公務員総合職試験「デジタル」区分からも職員を採用します。



従来の数理職

数理科学の素養を活かすキャリアパス

- ▶年金、医療、介護等社会保障制度の現状分析、将来シミュレーションを通じた政策の企画・立案
- ▶労働環境、雇用情勢の分析、評価等
- ▶厚生労働行政に密接に関連する統計調査の企画、立案、実施、評価等



デジタル分野の素養を活かすキャリアパス

- ▶国民生活に密接に関連する分野におけるデジタル化の推進に係る企画・立案
- ▶業務系のシステムの保守、整備、運用（プロジェクトマネージャーとして）
- ▶社会保障制度におけるビッグデータを活用した分析、施策への反映
- ▶民間企業との人事交流（官民交流制度）を利用し最新のデジタル技術の習得



様々な経験を通してキャリアアップを図ることができます